

中学校社会科単元計画【地理的分野:アフリカ州】

【単元のねらい】アフリカの国々が抱える貧困や紛争の問題について、自然環境・歴史的背景・産業・生活・文化と人々の暮らしとを関連付けて考察することを通して理解させ、これからのアフリカの発展のために必要なことを発表できるようにする。

【単元のめあて】アフリカの特色について、人々の暮らしとその変化をテーマにして調べ、発表しよう。

【単元の課題】アフリカの国々やそこに住む人々はどのような問題を抱えているか。

1時

【課題】アフリカには、どのような自然環境や歴史の特色がみられるか。

【活動】自然環境や歴史の特色を地図、雨温図、写真、歴史資料等から読み取る。

【まとめ】アフリカには世界最大の面積をもつサハラ砂漠があり、砂漠化が進んでいる。また、ヨーロッパの国々によって長い間植民地とされていた歴史をもっている。

2時

【課題】なぜアフリカの人々は貧困や飢餓に苦しんでいるのか。

【活動】アフリカの国境の特徴や主な紛争と難民数を地図等の資料から読み取り、貧困や飢餓に苦しむ理由を考える。

【まとめ】植民地時代の境界線を引き継いだ国境線は民族分布と一致しないため、民族間や周りの国々との争いが続き、政治や経済が安定しないため、貧困や飢餓に苦しんでいる。

3時

【課題】なぜアフリカの国々は工業化や経済発展が進まないのか。

【活動】アフリカの国々の輸出品が農産物や鉱産物に偏っていることを資料から読み取り、工業化や経済発展が進まない理由を考える。

【まとめ】モノカルチャー経済により収入が安定せず、資源の多くは自国で利用されないため、工業化や経済発展が進まないが、モノカルチャー経済下から抜け出す努力を続けている。

【単元のまとめ】アフリカはヨーロッパの国々から長い間植民地とされていた歴史をもっており、植民地時代の境界線を引き継いだ国境線は民族分布と一致しないため、現在でも紛争が続いており、貧困や飢餓に苦しんでいる人々がいる。また、モノカルチャー経済により、収入が不安定で経済発展も進まず、医療や教育の充実、インフラ整備も問題となっている。

4時

【単元の振り返り】(視点)アフリカの特色をまとめ、どうすればアフリカの人々の暮らしを変えることができるか、日本や国際社会、そしてアフリカの国々にできることを班の中で発表し合うことを通して、単元の振り返りとする。

アフリカの人々の暮らしとその変化についてまとめ、振り返っていく。